

報 告

第 46 回日韓技術士国際会議（栃木県・日光）報告

A Report on the 46th Japan-Korea Professional Engineers International Conference in Nikko, Tochigi-prefecture

第 46 回日韓技術士国際会議は、2016 年 10 月 2 日（日）から 4 日（火）までの 3 日間、栃木県日光市鬼怒川温泉、きぬ川ホテル三日月を主会場に開催された。日光市は、県の北西端に位置して日光国立公園の中核をなし、那須火山帯に属する山岳的景観の中に、世界文化遺産・日光東照宮がある国際観光都市である。

今回の会議テーマは、「伝統的技術と最新技術の融合と発展」である。東照宮の五重塔にみられる耐震構造にヒントを得た現代の超高層タワー建造技術、また韓国の歴史を誇る水原華城の空間変化の発展など、古の伝統技術を活かして発展させることは、現代の技術者にとってその持つ意味は大きい。

加えて、今回初めて、開催地・日光東照宮の歴史的過程の中から、我われ両国間の科学技術交流は、正に文化交流でもある証として、地元関係者の講演もいただいた。会議運営は、栃木県支部を挙げての取り組みと、参加者の協力に加え、親善サッカー大会、レディースコース、研修視察などのイベントも天候に恵まれて、3 日間の日程を滞りなく終えることができた。

参加者数（技術士、事務局）は、日本から 216 名（192 名）、韓国から 116 名（85 名）であった。

■プレイベント（10月2日午後）

女性技術士の会	第 10 回日韓女性技術士交流会
青年技術士	第 12 回日韓技術士親善サッカー大会
全体行事	前夜祭、両国会長夕食会

第 10 回女性技術士交流会は、日本 8 名、韓国 8 名に加え、今回初めて地元栃



写真 1 女性技術士交流会

木県 10 名、茨城県 1 名の女性技術者の参加を得て開かれた。両国活動報告、そして持続可能な社会に向けた環境に関する両国からの論文発表な

ど 2 時間を超える内容の濃い会合の後、参加者で会食を行った。

第 12 回親善サッカー大会は、宇都宮市河内総合運動公園で開催された。好天の下、日韓戦は白熱した好ゲームが展開されたが、結局、3-0 で日本側が圧勝



写真 2 日韓親善サッカー大会

した。試合後の前夜祭では双方選手たちが健闘を称えあった。

■式典・全体会議（10月3日 9時～12時20分）

式典では両国会長による式辞に続き、来賓からの祝辞を頂いた。斎藤文夫日光市長からは「親睦と技術交流を図りながら、恵まれた観光資源を有する本市の魅力を経験していただきたい」と歓迎。また、姜昱煥・駐日大韓民国大使館・原子力官からは「技術は生活の質を高める反面、地球温暖化などの問題に対応しなければならない。両国の各分野の専門家が集まる会議に期待している」と述べられた。

その後、基調報告が両国委員長から、そして会議テーマにもとづく基調講演が両国から行われ、最後に記念講演で式典・全体会議が締め括られた。

両国会長挨拶	吉田克己（日本） 金在權（韓国）
来賓挨拶	日光市長 斎藤文夫 駐日大韓民国大使館 原子力官 姜昱煥
両国委員長報告	田中俊生（日本） 李康建（韓国）
基調講演	日本：「東京スカイツリーの建設：世界一の高さへの挑戦」(株)大林組 池田雄一（機械/建設/総合）、東武タワースカイツリー（株）黒田浩司 韓国：「水原華城 200 年歴史と空間変化と発展」(株) 峻園景観センター 劉完鍾（都市計画）
記念講演	「平和の使節・朝鮮通信使と日光」 栃木県日韓親善協会会長 青木勲



写真 3 吉田会長挨拶

■分科会（10月3日 13時30分～17時）

午後は五つの分科会を開催。逐次通訳（第5分科会は英語発表）を交えて、開催地栃木県からの6名を含め31名の日韓技術士（日本17名・韓国14名）が発表し、会議テーマに沿った内容もあり実のある分科会であった。

第1分科会 国土・環境・資源・エネルギー・食品 座長：小田切明広 共同座長：李俊馥
日本：「那須野ヶ原の水利開発の歴史」小川正順（農業）、「栃木県の水力発電、その歴史と今後の展望」、松本茂（建設/総合）「火力発電を中心にエネルギー問題を考える」小林政徳（機械） 韓国：「韓国庭園の方池圓島築造様式」李俊馥（造景）、「排煙脱黄 廃水処理設備の運営事例」崔原徳（水質管理）
第2分科会 建設・安全・防災・危機管理 座長：須賀幸一 共同座長：李昌洙
日本：「斜面災害における二次災害防止の検討」上野将司（建設/応用理学）、「日本におけるブロック積み擁壁の技術的変遷と課題」右城猛（建設/総合）、「1998年に発生した余笹川水害とボランティア活動について」稲葉茂（建設/総合）、「総合スポーツゾーンの整備について」益子崇（建設/総合） 韓国：「低出生率について実質的で実効性のある対策が急務である」高光珍（土質基礎/土木施工）（発表なし）、「建設工事現場でのポケモンGOの適用と火薬発破CM」安明碩（火薬類管理）、「鉄筋コンクリート・フラットプレートスラブの垂直懸垂形剪断強化（VSSR）に関する性能実験と施工事例」禹鍾烈（建築構造）、「建設技術部門、エンジニアリング産業の実態分析を通して都市計画分野の対応方法を模索する」張根榮（都市計画）（口頭発表のみ）
第3分科会 技術者倫理・資格・教育・新技術・新工法 座長：平野輝美 共同座長：李芝衡
日本：「男女共同参画の実践」笹尾圭哉子（上下水道）、「技術士の事故調査とその役割」佐藤国仁（機械/総合）、「なくならない家電事故、再発防止に向けての技術者の役割」小方弘成（機械） 韓国：「蚕室ロッテタウンの構造設計と技術」金鍾浩（建築構造）、「野生花の花言葉から探る技術士倫理の話」徐英今（建築電気設備）、「技術士CPD教育による同伴成長」李芝衡（水質管理）
第4分科会 電気・電子・情報・通信・機械 座長：星俊臣 共同座長：南聖源
日本：「電気通信技術における朝鮮通信使からの日韓交流の変遷」金澤政和（電気電子）、「建築設計事務所におけるプロジェクト管理システム」廣瀬由紀（情報工学）、「高効率エンジンの実現に向けた次世代燃焼技術」飯島晃良（機械） 韓国：「軽油自動車の煤煙低減装置（DPF）のクリーニング性能高度化に関する研究」金炯俊（産業機械設備/車輛）、「伸縮アームを装着した掘削機の作業特性」南光元（建設機械）、「鉄道車両の走行抵抗に関する研究」南聖源（鉄道車輛）
第5分科会 英語発表 座長：室中善博 共同座長：尹錫龍
日本：「Where the Electronic Paper Is and Where It Is Going」前田秀一（化学/総合）、「Application of the new membrane filtration technology for the traditional biological wastewater treatment methods」野々部顕治（上下水道/衛生工学）、「A Global Solution for Environmental Technology Transfer within AEC+2」小松英司（環境）、「Treasures of the Sho-so-in」川上寛児（電気電子） 韓国：「Wireless Sensor Network for Smart Wind Farm」金永川（コンピュータシステム應用）「Chosun Dynasty 5 palaces in Seoul」柳忠鉉（都市計画）、「Where Engineering to go, Space or Sea？」尹錫龍（土木構造）

■ポスター展示（10月3日 9時～21時）

本会議場入口前のスペースにおいて、両国技術士等によるポスター展示、情報・意見交換が行われた。展示数は20。今回は、展示資料集を300部発行して参加者に配布した。午後には、分科会場にも一部展示コーナーが移され、参加者

へのPRが積極的に行われた。

■レディースコース

（10月3日 9時30分～16時）

日韓併せて43名が参加し、初秋の華厳の滝をバックに写真撮影したのち、中禅寺湖を眺めながら昼食をとった。午後、遊覧船からイタリア大使館別荘や八丁出島等の眺望を楽しみ、帰途は第一いろは坂を下った後、大正天皇の御用邸であった国指定重要文化財の田母沢御用邸記念公園を視察した。一行は日光の雄大な自然と歴史を満喫した。

■親善晩餐会

（10月3日 18時30分～21時30分）

レディースコースのツアーを待っての18時30分、コンベンションホー



写真4 晩餐会

ルにおいて、巻狩り太鼓の歓迎音頭の中、親善晩餐会が開会された。両国技術士会会長、赤松俊彦栃木県副知事の挨拶に続き、日本技術士会長から韓国技術士（金在權氏、朴浩慶氏、洪興杓氏）に国際貢献賞が授与された。また、サッカー試合で勝利した日本チームと両国のMVPに記念品が渡された。斎藤文夫日光市長の乾杯の後、全国的に有名な「日光和楽踊り」が披露され、日韓参加者が文字通り輪になって懇親を深めた。続いて次回開催地の釜山市の紹介がなされ、歓迎の意気込みが会場一杯に伝わった。最後に、恒例の両国ご婦人方がハーモニカ等の伴奏に合わせてコーラスを披露し、晩餐会の最後を飾った。

■研修視察（10月4日 8時30分～14時）

研修視察は、3コースが設定された。Aコースは1884年創業で超電導ケーブルを製作している古河電工日光作業所、Bコースは最大出力105万kWで日本を代表する揚水式発電所「東京電力今市発電所」、Cコースは世界遺産の日光東照宮、二荒山神社、輪王寺三仏堂を視察した。紅葉の日光には、少し早い時期ではあったが、各専門分野にわたって有意義な研修となった。

栃木県支部 第46回日韓技術士国際会議
運営委員長 田仲喜一郎